DQS 認証マークの使用条件と登録証の内容の説明

DQS 登録証保有者へのガイドライン

DQS 認証マークは著作権で保護されています。DQS 認証マークは、登録企業がきちんと認証を受けている証であり、世界中から優れた会社であるという評判を受けることができます。

貴社の優れた成果を示し「信頼でき、高品質で顧客志向のプロセスを保持していること」を、公に示してください。この資料は、貴社の登録証と国際的に保護された DQS 登録証の認証シンボルを、事務用品、チラシやパンフレット、オンライン広告、車体、展示スタンド、インターネットなどに貼り付けていただくにあたっての、使用の際の詳細な留意点を示しております。

信頼を築き、約束を守る

貴社の優れたマネジメントシステムと DQS が、貴社のビジネス文書やマーケティング文書の中で、注目を集められるよう、さまざまな認証マークを開発しました。

DQS 認証マークの使用方法



- 認証マークを使用するには、DQS が発行した有効な登録証、またはその他の適合宣言書が必要です。発行された有効な登録証に示されている DQS 認証マークのみ使用ができます（9 ページを参照）。有効期限が過ぎた後や、認証の一時停止、取り消し、またはキャンセルがあった場合、認証を使用したすべての広告は、直ちに停止してください。
- 登録証が組織全体に適用されてない場合は、登録証で有効な制限登録範囲を示す必要があります。（3 ページを参照）
- 認証マーク類は、常に組織の名称と関連させて使用してください。認証マークは、登録証に記載されている組織にのみ使用できます。組織に複数のサイトがある場合、実際に認証されたサイトの認証マークのみを使用することができます。
- 認証マークを使用する場合、基礎となる規格または仕様をシンボルのすぐ近くに指定する必要があります（3 ページを参照）。
- 使用できるのは、発行済みの証明書に記載されている DQS マークのみです。認証マーク類は、製品、製品パッケージに使用してはいけません。
  また、製品の適合性を示すと解釈される可能性のある方法で使用してはいけません。
  さらに、製品認証またはサービス認証を暗示する可能性のあるラボの検査や校正、または検査レポートや見積書には、認証登録企業はマークを使用してはいけません。
- DQS 認証マークのテンプレートは、リンクにある当社の Web サイトから、さまざまなファイル形式のものを入手できます。:
  英語版: https://dqsglobal.com/intl/about/certification/certificate-logos
  認証マーク自体を変更することは絶対にできませんが、DQS 認証マークに使用するサイズ、色（単色のみ）を選択できます。
- シンボルに登録証番号をつけることをお勧めします。
- ここで使用を規定している認証マークを除いて、販促資料または広告資料には矛盾が生じないようにし、認証段階の状態に関して誤解を招くような印象を与えることがあってはならないと言うのが DQS の見解です。
- 適合性に関する表明において、誤解を招く恐れのある保証や主張を含めてはならない。例えば、「ISO 9001:2015 の認証を取得した企業として、当社は世界最高のコーヒーを提供しています。」といった表現である。

- 検証声明を簡略化した形で言及する場合（例：「合理的な保証水準で検証済み」など）、必ず詳細な検証声明への参照を併記しなければなりません（パンフレット等の同一媒体内、あるいはウェブサイト等の別の媒体のいずれかで参照できるようにする必要があります）。
- UL Registered Firm マークは、2026 年 10 月 19 日以降に発行される登録証に当該マークは付与されません。そのため、今後認証マークを含む資料等の作成の際には、UL Registered Firm マークの使用は認められません。

デザインサンプル

DQS 認証マーク

ISO 9001 の例



統合マネジメントシステムの DQS 認証マーク

右のいずれかの表記となります。



または



ISO 9001 と ISO 14001 と ISO 45001 を認証済

登録範囲が限定されている場合の DQS 認証マーク

登録証が組織全体に適用されてない場合は、登録証で限定された範囲スコープや場所を表示する必要があります。



組織名，制限付登録範囲における ISO 14001 の DQS 認証

IATF 16949 の DQS 認証マークと IATF 認定シンボル

IATF16949 の場合、IATF シンボルは、DQS が発行した登録証上のみで使用が許可されています。IATF 認定シンボルを許可された使用以外で使用することは禁止されています。



EfbV の DQS 認証マーク

EfbV の場合 –専門廃棄物管理会社条例

注: 専門廃棄物管理会社条例（Entsorgungsfachbetriebeverordnung – EfbV）に従った認証の場合、EfbV の意味する範囲内で認証された活動は、常に DQS 認証シンボルのすぐ近くに示されなければなりません。（保管、収集、輸送、 処理、リサイクル、廃棄）



EfbV- 廃棄に基づく DQS-認証済

認定のない DQS 認証マーク

認定のない規格、または自主規格については、制限をしたスキームの中で有効なものを示す必要があります。

5S の DQS 認証済

DQS Med の DQS 認証マーク

DQS の医療関係認証済マネジメントシステム

- ISO9001 DAkkS 認定
- ISO15378 DAkkS 認定
- ISO13485 DAkkS 認定または SCC (カナダ規格評議会) 認定
- MDSAP（医療機器単一調査プログラム）
- TCP III （技術協力プログラム）

シンボル例-

特定の登録証の版は WEB で入手いただけます

使用例

DQS 認証マークはすべて、組織の品質と本質的な価値を表しており、一般に公開することができます。







認定シンボルの使い方

通常、認定シンボルまたは認定スキームシンボルは、審査登録機関のみが利用でき、登録証保有者の使用は許可されていません（DAkkS、IATF の場合は明示的に禁止されています。）DQS 登録証および認証プログラムに応じて、以下の条件に従えば、認定シンボル または 認定スキームマークを使用できます。

a) ANAB 認定シンボル

第三者による認定シンボルの使用は、以下を考慮した場合に許可されています。：

- 登録証に ANAB 認定シンボルが付いている登録企業のみが、以下に示す認定シンボルを使用する資格があります。

- 認証された登録企業は、ANAB の評判を落とすような方法で ANAB 認定を使用してはならず、ANAB が間違った方法、または誤解を招く使用、無許可であるとみなす可能性がある場合、ANAB 認定に基づく認証に関していかなる記述もしてはいけません。
- ANAB 認定マークは、DQS の認証マークと組み合わせて使用する場合に限り、認証取得者のレターヘッドや各種資料、および広告物において使用することができます。ただし、これには DQS が定めるマーク使用条件が適用されます。ANAB 認定マークは、DQS Inc.の認証マークの隣に配置しなければなりません（図 1 を参照）。
- ANAB の認定シンボルは、製品に使用したり、DQS および/または ANAB が認証顧客の製品、プロセス、またはサービスを認証または承認したことを示唆するような方法や、その他の誤解を招くような方法では使用してはいけません。 ANAB 認定シンボルは次の条件を満たす必要があります。:
  a. 白または明るい色の背景に黒、または青（PMS 286 または同等のもの）および赤（PMS 485 または同等のもの）であること。
  b. マークのすべての特徴を明確に区別できるサイズであること。
  c. 各寸法に歪みのない状態であること。
- ANAB 認定シンボルを使用する場合、サイズは DQS 認証マークのサイズを超えてはいけません。
- ANAB 認定シンボルを使用する場合は、以下に示すように、DQS 認証マークを含む完全な認証マークと組み合わせて使用する必要があります。：

＊登録証に記載されている ANAB ロゴを使用するものとします。

- DQS が認定を取り消した場合 または ANAB が DQS の認定を取り消した場合は、登録企業は、ANAB 認定シンボル および その参照を含む、全ての広告物の使用を中止するものとします。

b) 他の認定機関による認証用

特定の要件が適用される場合には、別途それぞれの DQS オフィスから通知されます。

b-1 JAB 認定シンボルの使用に関する要求事項

- 登録証に JAB 認定シンボルが記載されている登録企業のみ、下記に例示される認定シンボルを使う権利があります。
  a)認定シンボル部の基本色は、青色 (印刷物上は DIC-579 (CMYK: C90 M62 Y21 K0, RGB: R0 G98 B157) を用いることを原則とします。青色に代えて、黒色、灰色、金色または、銀色の表示を認めます。内部の白抜きは図形の背景との対比が明確な無地とし、認定シンボルの下の認定プログラム略号および認定番号の色は黒色とします。

b) 認定シンボルを単色刷りの印刷物に使用する場合は、a)に関わらず、認定シンボル全体を、当該印刷で使用されている同一の色で表示しても結構です。この場合、認定シンボル全体を地色との明瞭な対比をもたせて表示しなければなりません。

- 認定シンボルを縮小 または 拡大して表示する場合は、縮小または拡大後のマーク部、ロゴ部を下記と同一比にしなければなりません。また、区分名称部（ゴシック体とする）は、必ず表示することとし、縮小することにより、明瞭な表示が出来ないようにしてはなりません。
- 登録企業は、認定シンボルを使用する際には、JAB が DQS に付与した認定番号（CM028）と共に表示しなければなりません。
- JAB 認定シンボルは説明書や販売促進資料にのみ、登録証の範囲以内の商品やサービスに関して使用できます。名刺への使用は、登録範囲内の活動を行う人に関してのみ認められます。
- 認定シンボルは、製品に対しては使用してはなりません。また、供給者および事業者の製品が認証されているのとの誤解を生じさせるような方法で使用してはなりません。
- 認定シンボルを認証機関のマーク（以下、認定マーク等という）と共に使用する場合、認定マーク等は、認定シンボルとは明らかに異なるよう識別できるものでなければなりません。
- また、認定シンボルの意味ができるだけ明確になっていなければなりません。例えば、認定シンボルの位置や大きさと認定マーク等の位置や大きさとの関係等を配慮しなければなりません。
- 認定シンボルは、登録有効期間内においてのみ使用することができます。登録の終了時にはいかなる理由であれ、企業は直ちに JAB 認定シンボルのすべての使用を中止しなければいけません。
- 登録企業は、DQS が許容できない、そして DQS の意見として誤解を与えるような JAB 認定シンボルの使用を中止すること、そして登録企業がシンボルを使用する権利に関して述べることを中止することに同意します。
- 登録企業が本規定に違反した場合、DQS は、是正処置、認定シンボルの使用禁止、登録の取消し、違反の公表または法的処置等の適切な処置を講じます。
- 登録企業は認証範囲が縮小された場合、その縮小された認証範囲に対しては、直ちに認定シンボルの使用を中止しなければなりません。
- 登録企業は DQS が提供した JAB 認定シンボルの清刷の複製の保護および漏洩防止のため、当該企業で使用の場合、また、印刷物・ウェブサイト等を作成している下請負業者が使用する場合において適切な管理を行わなければなりません。
- 登録企業は JAB 認定シンボルの清刷の複製を提供した下請負業者の一覧を備え、DQS が要求した場合、提示しなければなりません。
- JAB 認定シンボルを使用する場合は、以下に示すように、DQS 認証マークと共に表示しなければなりません。認定シンボルのみを単独で使用することはできません。





b-2 一般社団法人情報マネジメントシステム認定センター
（以下、ISMS-AC）の認定シンボルの使用に関する要求事項

- ISMS-AC 認定シンボルの使用を許可されている登録企業の適用範囲のみが下記のシンボルの使用権利を有しています。

  認定シンボルの作図および色の指定

  認定シンボルの作図、色等は ISMS-AC の認定シンボル規定によります。

  認定シンボルを印刷物に表示する場合の色は原則として下記指定色とします。

  プロセスカラーの場合：（C100%+M70%）

  特殊印刷色の場合：（DIC220）1 色

  ホームページや電子情報に表示する場合の色指定は原則として下記とします。

  WEB カラースライダーで指定の場合：（003399）

  RGB カラーで指定の場合：（R=000, G=051, B=153）
- 認定シンボルを縮小または拡大して表示する場合は、寸法比を認定シンボル規定と同一としなければなりません。縮小する場合のサイズは、各部が明瞭に識別できる範囲としなければなりません。
- 登録企業は、認定シンボルを使用する際には、ISMS-AC が DQS に付与した認定番号（ISR027）と共に表示しなければなりません。
- ISMS-AC シンボルは説明書や販売促進資料に、登録証の範囲内の商品やサービスに関して使用できます。名刺への使用は、登録範囲内の活動を行う人に関してのみ認められます。
- 認定シンボルは、認証された適用範囲の報告書、カタログ、説明書、宣伝広告用資料、出版物、ホームページ等に使用出来ます。この場合、認証された範囲を明記しなければなりません。
- 認定シンボルを付した封筒などに入れる物は、認証された範囲の文書、広告、パンフレットとします。
- 認定シンボルは、有効期間内においてのみ使用することができます。登録の終了時にはいかなる理由であれ、企業は直ちに ISMS-AC シンボルのすべての使用を中止しなければいけません。
- 認定シンボルは製品や場所に表示してはなりません。また、製品や場所に対して適合性を示すと誤解される様な方法で表示してはなりません。
- 登録企業は、認証された範囲を縮小した場合、縮小した範囲に関係する認定シンボルの使用を中止しなければなりません。更に認定シンボルを使用できなくなった対象者に対して名刺での使用を含め認定シンボルの使用を中止しなければなりません。更に認定シンボルを使用できなくなった対象者に対して名刺での使用を含め認定シンボルの使用を中止しなければなりません
- DQS が、認定の一時停止期間中、および認定を取り消された場合、登録企業は認定シンボルの使用を中止しなければなりません。
- 登録企業は、組織の認証の一時停止期間中、および組織が認証を取り消された場合、認定シンボルの使用を中止しなければなりません。
- 登録企業は、組織が認定シンボルを使用できない状況になった場合、認定シンボルに関するデータを破棄しなければなりません。
- 登録企業は、本規定に違反した場合には、DQS は認定シンボルの使用中止、登録の一時停止または取消し、

違反の公表、または必要に応じて法的処置や他の適切な処置を講じます。

- 認定シンボルを使用する場合は、以下に示すように、DQS 認証マークと共に表示しなければなりません。認定シンボルのみを単独で使用することはできません。
- 両者が同一のマネジメントシステムに基づくものであることを示す為に両者を枠で囲むことが望まれます。



c) IQNET マークと認証

特定の規格において、DQS 認定登録企業は自分で IQNET 登録証を作成できます。 その登録証に関しては、登録証所有者は IQNET マークを使用することもできます。
その IQNET マークは、 https://www.iqnet-certification.com で入手できる各 IQNET ユーザーガイドに従って、使用します。

d) 使用できないマーク:

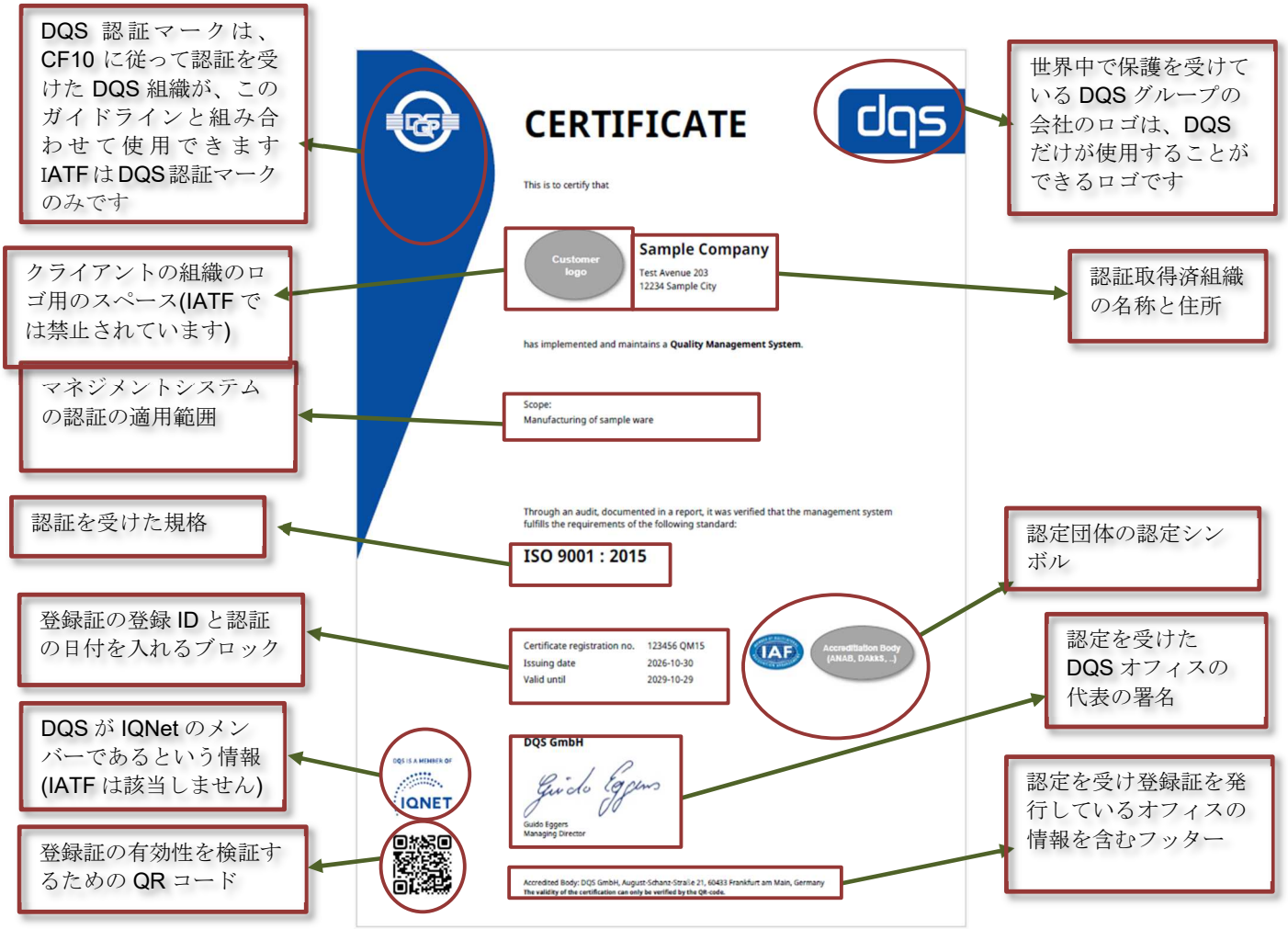
ISO.org と DAkkS は、そのマークが登録商標されており、DQS が認定した登録企業は、このマークを使用できないものとします。例えば：



e) 用語:

- 「ISO」を会社名としたり、ドメイン名、ウェブサイトに含めるような登録をしないでください。www.isodatabase.com.等
- 「ISO」を製品名またはサービス名としたり、含めるような使用をしないでください。
- 貴社や貴社の製品やサービスが、ISO によって、是認、承認または認定されているとは言わないでください。 （ISO が認証をしないことをご承知願います。）
- 規格は、常に正式名称と何年版かを示してください。
  例：「XXX（登録サイトの名称）は、DQS Inc.により ISO9001：2015 の認証を受けています。」
- 公正かつ適切な方法で ISO または国際標準化機構について述べてください。
- 適合宣言では、誤解を招く可能性のある保証をしたり、主張したりはできません。例えば、（「ISO9001：2015 登録企業として、世界最高のコーヒーを提供しています。」）など。

登録証の内容の説明と意味



登録証は、複数のページで構成されることがあります。 最初のページ（メインページ）の次のページ以降（2 枚目以降）のアネックスページには、審査の範囲内にある場所/サイトのリスト、および/または、審査結果と関連する製品、および/または、プロセスデータの詳細のいずれかを含んでいます。 登録証は、常に全体でのみ有効です。

DQS「**抜粋登録証**」は、DQS の正規の登録証のアネックスページに列記された場所/サイトの単独の登録証を言います。 この「抜粋登録証」は、正規の登録証につながっていることを明記した場合のみ有効となります。

DQS の審査員や、カスタマーサービス担当者は、審査中に認証マークやシンボル類の使用について調べたり、必要に応じて、是正処置について合意をしたりなど、喜んでサポートをさせていただきます。

DQS を使用しての広告、インターネットでのプレゼンテーションや提案、共同広報活動についてご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。